



近年多発する集中豪雨による浸水害等を想定して、石川県かほく市で総合防災訓練が開催されました。立山砂防事務所からは、土石流体感3Dシアター体験、土砂災害の模型展示、土砂災害に関わるパネル展示を行いました。

土石流の恐ろしさを学んでいただくと共に、避難のタイミングや避難時の行動について家族や地域で確認することの必要性を認識し、防災に対する意識を高めていただきました。

開催日時：令和元年9月8日(日) 7:00~9:00

場所：かほく市役所、宇ノ気水辺公園* (*立山砂防の展示)

訓練想定：9月8日未明から降り続く大雨により、かほく市全域に大雨警報(浸水害・土砂災害)が発表され、洪水及び土砂災害に備えて住民を避難させる。

- 訓練内容：①災害対策本部設置・運営訓練 ⑥土のう作成・設置訓練(体験)
- ②住民避難訓練 ⑦土砂災害3Dシアター体験
- ③埋没車両からの救出訓練 ⑧大型土のう設置訓練
- ④トリアージ・応急手当訓練 ⑨水上ボートによる救助訓練
- ⑤救急搬送訓練

土石流体感3Dシアター



3Dシアター内の様子

市長をはじめ約120名が体験！



3Dシアターに並ぶ参加者

防災訓練の様子



住民避難訓練



トリアージ訓練



埋没車両からの救出訓練

土砂災害模型展示



模型を使った土石流・地すべりがけ崩れの解説に、皆さん真剣に耳を傾けられていました。

土砂災害模型展示の実演



展示パネルの解説